

平成23年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	中学校武道必修化に向けた地域連携指導実践校		担当部局庁	スポーツ・青少年局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成21年度		担当課室	参事官(体育・青少年スポーツ担当)		参事官	長登 健	
会計区分	一般会計		施策名	XI-1 子どもの体力の向上				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	教育振興基本計画(平成20年7月1日 閣議決定) スポーツ振興基本計画(平成12年9月13日策定、平成18年9月21日改定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	平成24年度から必修となる武道・ダンスを円滑に実施できるよう、地域の指導者や団体・武道場等を活用することで、中学校における武道・ダンスの指導の充実を図るための実践的な研究を行う。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	中学校で新たに必修となった武道等を円滑に実施できるよう、地域の指導者・団体等の協力や地域の武道場等の活用を通じて、学校における武道等の指導の充実を図るとともに、武道・ダンス指導の経験の浅い中学校の体育担当教員等に対する基本的技能習得のための研修等により、武道指導者等の育成を図る。 【委託先:都道府県・市区町村教育委員会】							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	-	0	0			
		繰越し等	-	0	0			
		計	-	430	260	203	0	
	執行額	-	191	182				
	執行率(%)	-	44.4%	70.0%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		成果実績	単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)
	本事業を実施することにより、中学校武道・ダンス必修化に向けた取組に対して適切な対応が図られるようにするものであり、成果目標等を数値で定量化することは困難である。			学校数	-	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		活動実績 (当初見込み)	単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	地域連携により武道・ダンスに取り組んだ実践校数			箇所	-	217 (470)	307 (470)	- (470)
単位当たりコスト	0.6百万円(円/箇所)		算出根拠	単位当たりコスト=平成22年度執行額182百万円/平成22年度実践校数307件				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	委託費、諸謝金、職員旅費、委員等旅費	203百万円		平成23年度限りで廃止				
	計	203百万円						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、用途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	委託先1件当たり10校の実践校を予定していたが、当初予定を下回った。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	△	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>・当該事業の活動実績に係る点検方法については、委託先から提出される実績報告書の他に、実践校に研究報告書の提出を求め、事業の実施内容及び活動状況について、適切に管理されているかを確認している。</p> <p>・平成24年度から中学校で必修となる武道・ダンスの指導に生かせるよう、本事業の実践校における取組事例等をHP等で紹介することで、実践校数の増加に向けて、着実に進展していると認められる。</p> <p>・本事業で使用する用具等の購入に際し計画時より単価が大幅に下回ったため、不用が発生している。平成23年度については、前年度の執行率を反映し、事業規模について見直しを行っている。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
<p>中学校における武道必修化への対応や小学校段階からの武道導入に向けた実践的な研究を行うためのモデル事業であり、平成24年度から武道必修化が本格始動するため、当初の目標を達成することから、平成23年度をもって廃止している。</p>			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
<p>補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)</p>			

文部科学省 182.2百万円

〔新中学校学習指導要領の完全実施に向けて中学校における武道とダンスの指導の充実を図る。〕

【公募・委託】

中学校武道必修化に向けた地域連携指導実践校

A. 都道府県教育委員会
総支出額 30.0百万円
(全4教育委員会)
(再委託あり)

B. 都道府県・市区町村教育委員会
152.2百万円
(全54教育委員会)
(再委託なし)

〔地域連携指導推進協力者会議を開催するとともに、実践校を指定し、地域の武道場などの施設を活用した学習指導の在り方や、地域の指導者の協力を得て行う学習指導の在り方等の実践研究を実施。〕

【再委託】

C. 市町村教育委員会
15.8百万円
(全11教育委員会)

〔実践校を指定し、地域の武道場などの施設を活用した学習指導の在り方や、地域の指導者の協力を得て行う学習指導の在り方等の実践研究を実施。〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかにつ
いて補足する)
(単位:百万円)

【鹿児島県教育委員会のケース】

文部科学省

【公募・委託】

A. 鹿児島県教育委員会 9.8百万円

【再委託 全5市町教育委員会 9.8百万円】

C. 南さつま市教育委員会
4.4百万円

志布志市教育委員会
1.8百万円

西之表市教育委員会
1.6百万円

錦江町教育委員会
1.2百万円

曾於市教育委員会
0.8百万円

A.鹿児島県教育委員会			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
再委託費	実践校の事業に関する委託	9.8			
旅費	研修会講師旅費等	0.5			
その他	謝金、保険料	0.3			
計		10.6	計		0
B.徳島県教育委員会			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
消耗品費	剣道用具、柔道着等	20.1			
諸謝金	講習会講師謝金等	1.4			
印刷製本費	報告書印刷	1.3			
旅費	講習会講師旅費等	0.8			
その他	講習会会場費、通信運搬費、会議費、保険料	0.4			
計		24.0	計		0
C.南さつま市教育委員会			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
消耗品費	柔道用具	4.3			
その他	外部指導者謝金、旅費、保険料	0.1			
計		4.4	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.中学校武道必修化に向けた地域連携指導実践校(再委託あり)

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	鹿児島県教育委員会	地域連携指導推進協力者会議を開催するとともに、実践校を指定し、地域の武道場などの施設を活用した学習指導の在り方や、地域の指導者の協力を得て行う学習指導の在り方等の実践研究を実施。	10.6	企画競争	—
2	埼玉県教育委員会	地域連携指導推進協力者会議を開催するとともに、実践校を指定し、地域の武道場などの施設を活用した学習指導の在り方や、地域の指導者の協力を得て行う学習指導の在り方等の実践研究を実施。	8.9	企画競争	—
3	佐賀県教育委員会	地域連携指導推進協力者会議を開催するとともに、実践校を指定し、地域の武道場などの施設を活用した学習指導の在り方や、地域の指導者の協力を得て行う学習指導の在り方等の実践研究を実施。	7.0	企画競争	—
4	兵庫県教育委員会	地域連携指導推進協力者会議を開催するとともに、実践校を指定し、地域の武道場などの施設を活用した学習指導の在り方や、地域の指導者の協力を得て行う学習指導の在り方等の実践研究を実施。	3.6	企画競争	—

※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない

支出先上位10者リスト

B.中学校武道必修化に向けた地域連携指導実践校(再委託なし)

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	徳島県教育委員会	地域連携指導推進協力者会議を開催するとともに、実践校を指定し、地域の武道場などの施設を活用した学習指導の在り方や、地域の指導者の協力を得て行う学習指導の在り方等の実践研究を実施。	24.0	企画競争	—
2	大阪府教育委員会	地域連携指導推進協力者会議を開催するとともに、実践校を指定し、地域の武道場などの施設を活用した学習指導の在り方や、地域の指導者の協力を得て行う学習指導の在り方等の実践研究を実施。	7.7	企画競争	—
3	阿南市教育委員会	地域連携指導推進協力者会議を開催するとともに、実践校を指定し、地域の武道場などの施設を活用した学習指導の在り方や、地域の指導者の協力を得て行う学習指導の在り方等の実践研究を実施。	6.8	企画競争	—
4	世田谷区教育委員会	地域連携指導推進協力者会議を開催するとともに、実践校を指定し、地域の武道場などの施設を活用した学習指導の在り方や、地域の指導者の協力を得て行う学習指導の在り方等の実践研究を実施。	6.5	企画競争	—
5	京都府教育委員会	地域連携指導推進協力者会議を開催するとともに、実践校を指定し、地域の武道場などの施設を活用した学習指導の在り方や、地域の指導者の協力を得て行う学習指導の在り方等の実践研究を実施。	5.9	企画競争	—
6	有田市教育委員会	地域連携指導推進協力者会議を開催するとともに、実践校を指定し、地域の武道場などの施設を活用した学習指導の在り方や、地域の指導者の協力を得て行う学習指導の在り方等の実践研究を実施。	5.2	企画競争	—
7	愛媛県教育委員会	地域連携指導推進協力者会議を開催するとともに、実践校を指定し、地域の武道場などの施設を活用した学習指導の在り方や、地域の指導者の協力を得て行う学習指導の在り方等の実践研究を実施。	5.0	企画競争	—
8	浜松市教育委員会	地域連携指導推進協力者会議を開催するとともに、実践校を指定し、地域の武道場などの施設を活用した学習指導の在り方や、地域の指導者の協力を得て行う学習指導の在り方等の実践研究を実施。	4.9	企画競争	—
9	陸前高田市教育委員会	地域連携指導推進協力者会議を開催するとともに、実践校を指定し、地域の武道場などの施設を活用した学習指導の在り方や、地域の指導者の協力を得て行う学習指導の在り方等の実践研究を実施。	4.8	企画競争	—
10	二戸市教育委員会	地域連携指導推進協力者会議を開催するとともに、実践校を指定し、地域の武道場などの施設を活用した学習指導の在り方や、地域の指導者の協力を得て行う学習指導の在り方等の実践研究を実施。	4.4	企画競争	—

支出先上位10者リスト

C.中学校武道必修化に向けた地域連携指導実践校(鹿児島県教育委員会再委託先)

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	南さつま市教育委員会	実践校を指定し、地域の武道場などの施設を活用した学習指導の在り方や、地域の指導者の協力を得て行う学習指導の在り方等の実践研究を実施。	4.4	企画競争	—
2	志布志市教育委員会	実践校を指定し、地域の武道場などの施設を活用した学習指導の在り方や、地域の指導者の協力を得て行う学習指導の在り方等の実践研究を実施。	1.8	企画競争	—
3	西之表市教育委員会	実践校を指定し、地域の武道場などの施設を活用した学習指導の在り方や、地域の指導者の協力を得て行う学習指導の在り方等の実践研究を実施。	1.6	企画競争	—
4	錦江町教育委員会	実践校を指定し、地域の武道場などの施設を活用した学習指導の在り方や、地域の指導者の協力を得て行う学習指導の在り方等の実践研究を実施。	1.2	企画競争	—
5	曾於町教育委員会	実践校を指定し、地域の武道場などの施設を活用した学習指導の在り方や、地域の指導者の協力を得て行う学習指導の在り方等の実践研究を実施。	0.8	企画競争	—